

ナイジェリア

Federal Republic of Nigeria

①人口：1億4,630万人（2008年） ②面積：90万9,890km ² ③1人当たりGDP：1,451米ドル （2008年）	2006年	2007年	2008年
④実質GDP成長率（%）	6.2	6.4	5.3
⑤貿易収支（米ドル）	280億	230億	322億
⑥経常収支（米ドル）	138億	22億	56億
⑦外貨準備高（米ドル）	423億	513億	530億
⑧対外債務残高（米ドル）	35億	33億	37億
⑨為替レート（1米ドルにつき、 ナイラ、期中平均）	128.65	125.81	118.55

〔注〕2008年の①④～⑥⑧は推計値
〔出所〕①⑤⑥：EIU Country Report (Nigeria, April 2009), ②：ナイジェリア連邦統計局, ③④⑦⑨：IMF, ⑦の2008年はナイジェリア中央銀行, ⑧：2006年・2007年はIMF (Country Report, 2008年2月), 2008年はナイジェリア連邦財務省

■ 石油依存の経済—世界不況で打撃

2008年のナイジェリア経済は、非石油部門が9.1%の高成長を記録したものの、世界的な金融危機による不況で原油価格が下落し、またナイジャーデルタ地域の治安悪化で原油生産量が減少するなど、主要産業である石油部門の低迷が目立った。IMFによると、実質GDP成長率も5.3%と3年ぶりに6%割れする見込みである。また、海外金融機関からの信用供与も減少し、外国為替市場ではナイラ安（2009年5月末時点1米ドル=148.98ナイラ）の動きが強まった。ナイジェリア中央銀行も2009年1月中旬より市場への米ドル供給に対する審査をより厳格化したため、国内は米ドル不足に陥り一部商業銀行ではL/C

が開設できないなどの問題も発生した。

経済の低迷は続くとみられ、IMFは2009年の同国の実質GDP成長率を前年比2.9%と予想している。金融部門では、ナイジェリア証券市場において海外からの投資が引き始め、全株指数も2008年末に前年末比45.8%減少にまで陥った。2009年5月のインフレ率は、前年同月比13.2%程度で推移している。

2008年末に内閣改造を実行したヤラドゥア政権は、今後国内電力問題解決に向けたガスマスタープランの遂行、ナイジャーデルタ省設置による治安回復、石油依存体質からの脱却に向けた農業・繊維部門の育成をどのように展開していくか問われている。

■ 輸出増は原油価格高騰による一時的なもの

ナイジェリア連邦統計局によると、2008年の輸出は金額ベースで前年比39.1%増の9兆5,689億ナイラ（以下、N）、輸入は20.1%減の3兆2,991億Nであった。

輸出は、原油が総額の91.5%と大半を占める主要品目であり、2008年7月までの油価高騰により年間で前年比36.8%増となっている。

国別では、原油輸入総額の9.8%をナイジェリア産が占める米国が、前年比16.2%増となり最大の相手国となっている。以下、インド（64.1%増）、ブラジル（27.2%増）、フランス（62.5%増）と、いずれも油価高騰が輸出額を伸ばす結果となった。

輸入では、金額ベースで構成比31.2%を占める機械・電気機器類が前年比13.0%増となったが、鉄鋼・同製品（70.7%減）、オートバイ（76.6%減）、植物性生産品（71.0%減）が急減し、輸入額全体では大幅に減少した。

国別にみると、前年に引き続き中国が輸入相手国1位で、総額も前年比77.8%と急増している。安価な中国製品は大量にナイジェリア市場に出回っており、繊維製品、

表1 ナイジェリアの主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：1,000ナイラ、%）

	2007年		2008年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(FOB)	6,881,501,326	9,568,949,247	100.0	39.1
原油	6,395,167,214	8,751,617,979	91.5	36.8
輸送機器・同関連品	25,649,847	226,935,132	2.4	784.7
皮革・毛皮と同製品	49,205,921	79,684,197	0.8	61.9
植物性生産品	41,372,661	38,239,311	0.4	△7.6
輸入総額(CIF)	4,127,689,933	3,299,096,622	100.0	△20.1
機械・電気機器・同部品	911,144,393	1,029,870,085	31.2	13.0
発電機	73,452,199	59,564,885	1.8	△18.9
アンテナ・同部品	25,197,522	37,161,877	1.1	47.5
卑金属・同製品	564,249,622	409,987,522	12.4	△27.3
鉄鋼・同製品	420,492,448	123,299,184	3.7	△70.7
輸送機器・同関連品	519,071,236	496,022,009	15.0	△4.4
乗用車	116,529,105	193,263,961	5.9	65.9
バス	79,480,985	91,086,489	2.8	14.6
オートバイ	204,939,843	47,947,156	1.5	△76.6
船舶および浮き構造物	12,626,815	17,403,139	0.5	37.8
化学工業生産品	384,630,152	263,172,592	8.0	△31.6
植物性生産品	372,622,358	108,124,916	3.3	△71.0

〔出所〕ナイジェリア連邦統計局。

表2 ナイジェリアの対内・対外直接投資額<ネット、フロー>

(単位:100万ドル)

	2005年	2006年	2007年
対内直接投資	4,978	13,956	12,454
対外直接投資	200	228	261

〔注〕2007年の対外直接投資額の数値は暫定値。

〔出所〕UNCTAD「World Investment Report 2008」。

殺虫剤、靴、かつら、保存処理したトマト、鉄鋼・アルミニウム製品、建設機械、自動車、家電製品などが、前年比50%以上の伸びをみせた。オランダ(85.8%増)および米国(47.7%増)からは、石油製品がそれぞれ2.2倍、6.6倍と顕著な伸びをみせたほか、鉄鋼製品、機械類・電気機器、建設機械、発電機、自動車の輸入も伸びている。

■金融危機で減少するも多様化する対内投資

UNCTADの直接投資統計(国際収支ベース、ネット、フロー)によれば、ナイジェリアの2007年の対内直接投資額は124億5,400万ドルと前年比10.8%減となった。

同国主要産業である石油・ガス部門では、ロシア・ガスピロムがナイジェリア石油公社と覚書を締結し、ナイジェリアにてガス探査・生産・輸送を共同で行うことで合意したほか、インドONGCミタルが40億ドルを投じて18万バレル/日規模の製油所建設を予定している。また、2009年1月には、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイ・ワールドも石油ガス上流下流部門に投資することについて、ナイジェリア政府と覚書を締結した。ヤラドゥア政権は、2008年末の内閣改造で新たにナイジャーデルタ省を設置し同地域の治安回復を図っているが、いまだ解決の糸口がつかめていない。今後の石油ガス部門への投資呼び込みにとっては、大きな懸念事項となっている。製造部門では、SABミラー(英)がパドットを買収し、ビール市場に参入した。サービス部門(建設・通信・航空)では、2008年に南ア資本のプロテアホテルが2棟ホテルを新設した。国内で5番目となるGSMライセンスを取得したUAEのイッティサーラートは2008年9月に事業開始した。南アのMTNも2009年に1,800億Nの投資を発表しており、2009年2月時点で2,500万件という契約者数のさらなる増加が期待される。加えて、ヴァージン・ナイジェリア航空がラゴスとコートジボワール、リベリアを結ぶフライトを開始するなど、ラゴス空港の西部アフリカ地域におけるハブ化が進んだ。ラゴス市内でも、寿司を提供するレバノン系レストランが数件出店するなど、対内投資も多様化の兆しがみえる。

ただ、金融危機の影響は国内で操業、販売する外資にも及んでいる。冷蔵庫とエアコンを現地で組み立てている韓国LG電子は2009年に入って減産を余儀なくされ、2008年自動車の輸入販売を開始したインドのタタ・モー

表3 日本の対ナイジェリア主要品目別輸出入

(単位:1,000ドル、%)

	2007年	2008年		
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(FOB)	731,801	923,476	100.0	26.2
乗用車	242,741	209,240	22.7	△13.8
10人以上輸送自動車	84,818	153,985	16.7	81.5
鉄鋼	95,420	151,226	16.4	58.5
一般機械	59,732	121,671	13.2	103.7
繊維原料	40,842	54,757	5.9	34.1
電気機械	48,523	52,108	5.6	7.4
ゴム製品	40,665	37,875	4.1	△6.9
サバ(冷凍のもの)	6,708	23,664	2.6	252.8
非金属鉱物	18,000	20,160	2.2	12.0
二輪自動車	12,937	14,901	1.6	15.2
精密機器	12,998	4,562	0.5	△64.9
輸入総額(CIF)	674,178	1,748,814	100.0	159.4
液化天然ガス(LNG)	369,973	1,557,170	89.0	320.9
原油	246,412	89,656	5.1	△63.6
採油用ゴマ	24,312	75,914	4.3	212.2
アルミニウム合金の塊	6,182	25,046	1.4	305.1

〔出所〕財務省「貿易統計(通関ベース)」から作成。

ターズも、為替の変動に進出当初から苦しんでいる。

このように金融危機の影響を受けているナイジェリアだが、さらなる新規・拡充投資を呼び込むため、各部門の発展に向けた政策実施に期待が寄せられている。エネルギー部門では世界7位の埋蔵量を誇るガスの開発・発電利用を目指すガスマスタープランが2008年2月に承認されている。また、農業部門では食糧価格高騰を抑え農産品の生産を促進するため2,000億Nの基金が設立されているほか、電力部門では2009年末までに6,000メガワットの発電を目指し、ナイジェリア政府がドイツのシーメンスなどの企業連合5社と覚書を締結している。

■日本の鉄鋼・機械輸出、LNG輸入が拡大

日本の財務省貿易統計(通関ベース)によれば、2008年のナイジェリアへの輸出額は9億2,348万ドル(前年比26.2%増)となり、輸入額は17億4,881万ドル(159.4%増)と拡大している。

日本からの輸出では、10人以上輸送自動車が前年比81.5%増、鉄鋼が58.5%増、一般機械が2.0倍、サバ(冷凍のもの)が3.5倍となり、輸出額の拡大に貢献した。輸入は、新潟県の柏崎刈羽原発が停止していたことから液化天然ガス(LNG)の需要が高まり、前年比4.2倍と大きく増加したほか、採油用ゴマが3.1倍、アルミニウム合金の塊が4.1倍となった。一方、原油は63.6%減となった。

なお、ナイジェリアの日系企業数は2009年5月現在14社である。